



伍桃だより

Goto Dayori

新潟医療福祉大学 同窓会

No.4
2009.10

特集

社会人はなぜ大学院で学ぼうとするのか ————— P1

社会福祉学専攻／社会福祉学科 准教授 横山 豊治

研究室訪問

研究室は世界のフィールド ————— P5

医療福祉学専攻長／健康栄養学科 教授 村山 伸子

対談	P3
会長、学長、学科長からの祝辞	P4
学科からの近況報告	P7
5期生は今!	P9
こころに届くいい話	P11
大学院案内	P12
掲示版	P13



特集

社会人は なぜ大学院で 学ぼうとするのか。

近年、高度な専門知識や技術を身に付け、キャリアアップを目指すなど、様々な理由から社会人が大学院に戻ってくるケースが増えています。

そこで、同窓会では、社会人が大学院に戻ってきて学ぼうとする動機やメリットについて本学社会福祉学科の横山富治准教授の経験談も交えながらお話ををしていただきました。

社会福祉学専攻／社会福祉学科 準教授 橋山 豊治

自己研鑽への 求められる 努力

育に対して卒後教育という言葉があるように、資格や免許の取得後も、実践経験を積み重ねることと並行して、スーパーバイジョンや各種の研修を受け、自己研鑽に励む生涯研修への努力が求められていますので、大学院で学ぶこともその一つのバリエーションと位置付けることができ

また、社会福祉士の全国組織である（社）日本社会福祉士会では、三年間で六〇時間以上の研修を継続する共通研修課程を生涯研修制度の中に位置付けていますが、そこでは多様な研修形態を認めており、その中の一つに「大学院での研究活動」も含まれています。

私の専門である社会福祉学、ソーシャルワーカーの分野においては、社会福祉士及び介護福祉士法が二〇〇七年に改正され、「資質向上の責務」という条文が新たに追加されて、専門職としての自己研鑽は法律上の努力義務にもなりました。国民の福祉ニーズの高まりと多様化・複雑化に対応するには、有資格者も援助の質

一方、社団法人日本社会福祉教育制大学一四八校のうち、六割にあたる九一校で大学院修士課程が設けられており（一〇〇八年度末）、仕事や家庭との両立や調整に努力をしながら大学院で学ぶ社会福祉従事者の姿が各地で見られます。

対応するには、有資格者も援助の質を高める努力を怠ってはいけない――

私の場合

私自身も実は三七歳で修士課程に進み、社会人院生を経験しました。



での二年間は、精神的にはとても充実していたのを覚えています。そして結果的には修士論文で取り組んだことを活かす形で、その後も社会福祉専門教育の仕事に就くことができました。

多様な動機

私の場合は、ソーシャルワークの教育者になつてからの進学でしたが、現場実践との両立に努力しながら修士課程に通い、修了後も現場実践を

続けておられるソーシャルワーカーも珍しくなくなつてきました。仕事だけでも十分に忙しく疲れるはずなのに、なぜわざわざ大学院に行こうと思ったのか。本人たちに聞いてみるとその動機は様々です。

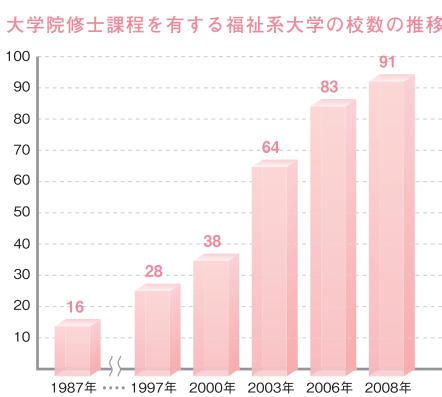
「仕事への確固たる自信を持ちたくて」「働きながら社会福祉士、精神保健福祉士の資格を取つたら次の目標がほしくて」「仕事上、文章を書いたり人前で話したりすることが多くなり、それをきちんとした論文にまとめてきたくなつた」「あるサポートシステムの必要性を立証したくて」「学部卒業時にも関心はあつたが、当時は経済的な事情で行けなかつたので」「学部時代の恩師から専門職の要件として修士号の取得を期待されていたのでいつかは行きたかった」「仕事で放

出するばかりではなく充電の時間を持ちたくて」「学術論文を書く力や研究方法を身につけたくて」「自分たちの事業を取り巻く地域福祉全体の方々が気になってきた頃、学部時代の恩師に勧められたので」「社会福祉士会の知人が大学院に行き始めたと聞いて刺激を受けて」「職場での職員研修の試みについて論文にまとめたくて」等々。



を経て、社会福祉士を養成する専門学校の教員になつたのですが、「実践経験がある」というのと、人にものを教える「教える」というのとでは別の能力が必要。経験がある「教える」だけで良い教育ができるわけではない」と感じるようになり、教える立場になつてみてあらためて自分自身が社会福祉を学問的に探究したいと思うようになつて、大学院を目指したという経

緯があります。ただ、当時は今よりも福祉系の大学院が少なく、私の周囲に働きながら通える福祉系の大学院がなかつたため、仕事を辞めて東京に移り住む必要がありました。その年齢で定職を投げ打つのはそれなりにリスクなことであり、非常勤講師をいくつか掛け持ちしてなんとか生計を維持するという状況でしたが、自分で望んで身を置いた大学院





高橋 榮明学長

骨・関節疾患のリハビリテーションを中心とした領域を専門に長年研究に携わる。大学院の目的は、「研究のための研究ではなく、患者様のQOLをいかに向上させるか」であるという確固たる信念のもと、本学大学院の発展に寄与している。



田中 悠也 修士2年

理学療法士。1985年、東京都生まれ。理学療法の3本柱である「臨床・教育・研究」を極めたいという思いで、北里大学卒業後、本学大学院に入学。人の体の中に働いている力を計測するといったバイオメカニクスの研究を進めている。



菅原 和弘 修士1年

理学療法士。1982年、宮城県生まれ。本学を卒業後、理学療法士としての3年間の勤務を経て本学大学院に入学。実務経験を通して興味を深めた、「脳科学における感覚と運動の関連」を中心的な研究課題としている。



対談

もっと学びたい、もう一度学びたい。

本学の大学院修士課程に在籍している学生は日夜研鑽を積んでいる。ここでは本学大学院在学生の2人に出席していただき、院生としての思いを聞く。また、高橋学長にもご出席をいただき、大学院の進むべき方向についてお話をうかがった。

●
こと目標にしています。

●
て、大変なことも乗り越えてこられたと感謝しています。

「大学院に進学した動機と、入ってみての感想を教えてください。」

田中…臨床と研究を兼ね備えた理学

療法士を目指したいと思っていた私

は、大学を卒業しすぐに臨床に携わ

るには不十分であると認識し、大学

卒業後すぐに修士課程に進みました。

最初は、臨床に役立つ研究をと思つ

ていましたが、実際に大学院に入つ

てみると、臨床応用の下地となる部

分もまだはつきりと修得できていな

いことに気づかされました。大学院

は、自分から学ぼうとしなければ何

も学べないところです。今後は自分

の研究を進め、臨床に活用していく

ことを目標にしています。

「大学院で学ぶということ、大学院が目指すことについてはどうにお考えでしょうか。」

高橋学長…田中さん、菅原さん、そ

れぞれに時間の問題、経験の問題な

ど、メリット・デメリットを抱えて

います。私も医師として勤務し、夜

間と週末は勉強をしたという経験が

あるのですが、大切なこ

とは、自分にとつてのデ

メリットをいかに意識し

てメリットに変えていく

かということですね。理

学療法士として、自己の

分野を深化させ、研究の

ための研究ではなく、患



●
者様に行う療法が最良かどうかを検証できる根拠についての研究をしてください。

●
本学には現在八つの学科がありますが、これらの学科が連携して新しい価値を創造する、複合型大学院とも呼べるような大学院が目指す一つの姿です。たとえば生活習慣病予防やスポーツ栄養について、看護・理学・スポーツなどの各学科が、運動と栄養などが複合する分野で連携して研究を行う。さらに、海外からの情報を獲得し、海外に研究成果を発信していく。国際的基準に合致する研究をすることも目標の一つです。

大学院の修士課程で学ぶ研究方法論は研究のベースになるものです。物事を分析的な目で見るという研究方

法を身につけることは、自己の研究を深化させて、博士課程後期に上げていくという道のりの第一歩であり、一生を通じて大きな財産となる

でしょう。そして、常に

臨床に役立てるることを意

識して研究を続けてほしいと思

う思います。大学院の学生諸君にはぜひ活躍を

してもらい、後輩をひつぱつといつてくれるよう

期待しています。

5周年記念交流会・第5回総会・第3回首都圏支部総会共同開催のお知らせ

同窓会では、5周年を迎えるにあたり「久しぶりに懐かしい先生やお友達とワイワイしましょう！」をテーマに5周年記念交流会・第5回総会・第3回首都圏支部総会の共同開催を計画しております。

遠方にいる学友・先輩・後輩、そして恩師との親睦を深めることのできる良い機会です。和太鼓部・吹奏楽部の演奏や同窓会役員制作の懐かしい大学時代の写真を集めたスライドもご覧になっていただく予定です。皆様のご出席、お待ちしております!!

1. 日 時：平成21年11月28日(土)18:00～20:00予定

2. 場 所：チサンホテル・コンファレンスセンター新潟
(新潟駅南口 旧ワシントンホテル)

3. 会 費：5,000円

4. 申込〆切：平成21年10月20日(火)

申込用の返信葉書を同窓会支援室までご返送願います。

新潟医療福祉大学同窓会5周年



新潟医療福祉大学 学長
高橋 荣明

同窓会設立5周年をお祝いして

祝辞

5th Anniversary



同窓会長
齊藤 公二

5周年記念挨拶

平成21年度は新潟医療福祉大学同窓会設立5周年にあたり、会員の皆さんのが活躍とご発展を心からお祝いし、齊藤公二会長および役員の皆さんの同窓会活動に対する熱意に深い敬意を表します。

平成16年の秋、当時の4年生が卒業を前にして、今後の活躍を期して同窓会が設立されました。私も早く特別会員として参加させて頂きました。そして同じ時期には学生歌、校旗が制定されました。

現在は、毎年秋に同窓会総会が開催されています。同窓会は少しずつ組織が整備されており、全国で活躍している卒業生による地域同窓会も設置されました。その最初として首都圏同窓会が東京駅サビアタワー内にある東京キャンパスで既に2回開かれました。今後、全国各地における地域同窓会の新設を期待しています。

現在のインターネットが発達した時代では、今までにない同窓会の活動、常にネットを通じていろいろな卒後の生涯学習などができるような仕組みが同窓会に欲しいと思います。設立5周年にあたり将来に向けて同窓会のさらなる大きな発展をして期待しています。

設立5周年、お芽出とう。



理学療法学部長
大西 秀明

祝辞

同窓会設立5周年誠におめでとうございます。また、発足当初より会長として同窓会をまとめてくださっている齊藤公二会長にも心から感謝致します。

一期生が卒業してから既に5年目を迎えて、嬉しく思うと同時に時の経つ早さに驚かれられます。大学の伝統を築くのは卒業生の皆さんです。これから益々同窓会が大きくなっていますが、より良い伝統を作るためにも同窓会の益々の発展と活動を心より期待します。



言語聴覚学科長
糟谷 政代

祝辞

同窓会設立5周年、誠におめでとうございます。

新潟医療福祉大学の同窓会という苗木は、会長初め多くの方々のご努力で、現在の発展の基礎を築かれ、立派な若木へと成長されたことに敬服の意を表します。多くの活動を軌道に乗せられた先輩たちのご活躍は、後輩たちの未来への夢や希望のエネルギー源となっております。それぞれの分野で活躍されている皆様が一同に会する組織としての同窓会が、今後とも皆様の総力で、若木から大木へと成長・発展していくことを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



健康栄養学科長
斎藤 トシ子

祝辞

同窓会設立5周年、誠におめでとうございます。会長はじめ、同窓会の運営に携わっている方々には、改めて感謝申し上げます。先輩がいない中での初めての同窓会の立ち上げ、同窓生間の親睦・懇親、母校・後輩への後援など、多くの活動を軌道に乗せるには、沢山の苦労があることだと思いますが、これからも、卒業生の総意を示す団体として、また全学科の卒業生が一体になる団体として発展することを祈念し、お祝いの言葉といたします。



看護学科長
塚本 康子

5周年おめでとうございます

看護学科は開設して4年目、今年度は第1期生の卒業という学科にとっても節目の年です。その4年生は卒業研究や就職準備で充実した毎日を送っているように見受けます。2月の国家試験に合格すれば、看護師・助産師・保健師・養護教員として社会に果立っていきます。そして皆様の同窓会としてお仲間に入れていただくことになります。どうぞよろしくご支援をお願い致します。

新潟医療福祉大学同窓会のますますのご発展をお祈り致します。



作業療法学科長
大山 峰生

祝辞

新潟医療福祉大学同窓会設立5周年、誠におめでとうございます。本学の歴史の一ページを飾るものとして、心から祝福申し上げます。

大学はまだ歴史が浅く、同窓会の執行部の方々をはじめ皆様方によりましては、多くの御苦労がありになったことと存じ上げます。その御苦労にもかかわらず、毎年のように後輩や仲間を思いやり、大学を盛り上げる活動には深く感動致します。

「今日という日は、残りの人生の第一歩」という言葉があります。この第一歩の大きな喜びを実感し、本学同窓会が何時までも続きますことを心よりお祈り申し上げております。



義肢装具自立支援学科長
江原 義弘

祝辞

5周年おめでとう。日本各地で皆さんが活躍していて、後輩の臨床実習のアドバイザーにもなってくれてありがとうございます。また教員を呼んでくれて講演会なども企画してくれてありがとうございます。後輩も教員も心強いつもりです。地域にとけこんで社会に貢献してください。また、卒業してから、もっと勉強しておけば良かったと思うならいつでも大学院に来てください。大学はいつでもオープンだよ。5周年が50周年になり100周年になるのが楽しみです。



健康スポーツ学科長
和唐 正勝

設立5周年

おめでとうございます

健康スポーツ学科は、今年3月に初めての卒業生を送り出すことができました。同窓会が設立されて5周年の記念を、この第一期生の同窓会員とともに祝いておきたいことをうれしく思っています。大学創立時にキャンパス内に植えられた木々も、年輪を重ねるにつれ一層大きく立派になってきております。5周年を迎えた同窓会も、この木々の成長のように、今後さらに大きく発展されることを祈念しております。



社会福祉学科長
丸田 秋男

お祝いの言葉

同窓会設立5周年おめでとうございます。同窓会と一体となって大学の発展を願う教員の一人として、齊藤会長をはじめ役員の方々と共に、終身会費のルールづくりや伍桜だよりの発行、首都圏支部の設立などに直接関わっただけに大変嬉しい思います。

大学との密接な連携の下で、同窓会活動の一層の充実を図り、新潟医療福祉大学マインドの更なる醸成と同窓生の生涯にわたる支援ネットワークの確立を目指されることを心から期待しております。

トレーニングした調査員が対象者の家に3日間貼りついで食べたものを秤量して記録している様子

トレーニングを終えていよいよ調査開始：現地調査員、日本人研究者、本学学生と

日常の食事：もち米飯、川で採った魚、森や菜園の野菜



研究室は世界のフィールド

本学の医療福祉学専攻長である村山伸子教授は、「研究室は世界のフィールド」ということをモットーとして、国内外問わず、ご自分がやりたいこと、面白いと思うことに対して活動的に研究に取り組んでいます。そんな村山教授に現在どのような研究をしていらっしゃるのかお伺いしました。

医療福祉学専攻長／健康栄養学科 教授 村山 伸子



研究室訪問

「ようこそ！研究室に」

研究室はどこに？

二十歳代半ばに単身タイに渡り、その後、トンガ王国、フィリピン、タイ、バングラデシュ、ラオスと、アジアや南太平洋の国々で、フィールドワークを続けてきた。あらためて数えると、すでに二十五年にもなっている。今回は、私の研究室である世界のフィールド、フィールドでの研究について少しご紹介したい。

私がフィールド研究者としての大変さと醍醐味を感じたのは、大学院博士課程の研究のために、東北タイの農村で一年間生活しながら村人の生活を追いかけていたときであった。雨季には村人は、集落から出て水田の脇で生活するため、調査のために毎朝五時頃に暗い中を数キロ歩いて彼らのもとに行かなくてはならない。しかも、洪水で見えない水田の畦道をさぐりながら、体重計を頭にのせてである。転んだら体重計は壊れる、そして調査はできなくなる。また、稻刈りの季節には、干上がった水田に入るやいなや蟻が集団でズボンの裾から入ってきて、無数の蟻に足全体を噛まれる。痛いなんでものではない。そんな一年間の調査が全て終わつた日、水田の水平線に沈む夕日

で大きくゆれていたことを今でも忘れない。

学生・大学院生とのフィールドワーク・・極限状態で自分の限界を知る

新潟医療福祉大学に来てからは、学部の学生・大学院生にもフィールドワークに参加する機会をつくってきました。これまで、一期生の齊藤公二くんをはじめ十名以上の学生や大学院生がアジアのフィールドに出かけて研究の一端を体験してきた。他の大学の先生からは、「学生には無理ではないか、大変でしょう、事故に合つたらどうするのか」と言われている。しかし、これまでの経験では、フィールド経験をした人は必ず大きく成長している。フィールドでは「自分がいかにできないうか」という自分の限界をみせつけられることが多い。しかし、研究としてやらなくてはならないことがあるので、落ち込んでいる余裕はない。極限状態でも自分で見て、聞いて、考えて、自分がすべき行動をしなければならない。どうもこれが自信につながつていいくようだ。フィールドワークは人を成長させる。

また、他の国や社会で生きる人々の生活や価値観を知ることで、日本の狭い社会や価値観の中でしか物事を考えてこなかつたことに気づき、

対象者の幼児に貼りついて1日に食べたものすべてを秤量して記録する(1期生の齊藤君が調査中の様子)

24時間思い出し法による食事調査



現地医師による血圧測定、問診



上腕周囲測定



自分の価値観を相対化できる。このことは、仕事をするうえで様々な課題に対しても判断をするときに大いに役立つ。

フィールドでなければできない研究に魅せられて

私のライフケアとしての研究テーマは、「どうしたら人間は自然と共生しながら豊かに持続的に生きることができるのか?」である。私は国内外で「人間が食べること」に関する様々な研究をしているが、最終的にはすべてこのテーマにつながる。

そして、この問い合わせはフィールドの中にあるのだと思う。人間は、未だ自然や人間についてわかつていないことのほうが多いのだと思うが、現在のところ豊かさや持続性の一つのヒントは「自然と人間の関係」の「多様性」にあるのではないかと考えている。その手がかりをさぐるために、現在ラオスの「昆虫食」について地理学者との共同研究をしている。

こう書くと、本学の中ではかなり「変人」と思われるかもしれないが、やりたいこと、面白いと思うことにまつすぐであり続けられたのは、常に「あなたがやりたいことは何か?」「この研究、何が面白いの?」と問う

続けてくださった、一人の恩師のおかげだと感謝している。

リが人生を豊かにする フィールドでの人とのつながり

フィールドならではの「仲間」がでることは人生を豊かにしてくれる。現在フィールドワークは、多分野の研究者、多くの現地スタッフと一緒におこなっている。ラオスでも村人をトレーニングして調査員になつてもらうが、調査最終日には彼らと村で栽培された野菜や川で採った魚で大宴会となる。そして、フィールドで、調査が終わって現地や日本の仲間と飲む酒はうまく。「今回もいろいろハプニングはあつたけど、やつた」という充実感を皆で共有する。まだまだフィールドワークの魅力を語りつくせていないが、何か面白そうだと思つていただければ幸いである。

大学院そして大学の国際交流への展開

皆さんも働いていて、「もつとこのことがわかればいい仕事ができるのに」、「体験的にはこの対処法はよいと思うが、本当にそうか確かめたい」と感じることが少なくないでしょう。フィールドワークに限らず、本学の大学院の特徴は、現場での自

分の問題意識で研究できることにあらう。大学院での研究は、自分

が世界に通用するプロフェッショナルになる第一歩であると

同時に、社会のためになることをめざす。

本学全体の国

際交流活動も盛んにおこなわれるようになっている。各学科で実施している学生の海外研修、海外の大学との協定、海外の研究者等によるシンポジウム、教員間の交流や研究などがある。私はこれまで研究以外にも国際協力活動で海外と関わってきた。バンガラデシュでのNGO活動は二五年になる。二〇〇七年～二〇〇八年にはJICA(国際協力機構)の短期専門家としてフィージーでの栄養政策立案支援に派遣された。その後、本学で二〇〇九年度～二〇一一年度まで、健康栄養学科、健康スポーツ学科、看護学科等が連携しJICAの集団研修「大洋州における地域保健での生活習慣病予防対策」コースを引き受けることになり、毎年一ヶ月間大洋州各国からの研修生が来る予定である。

大学院での研究、国際交流など興味がある人は問い合わせてください。



子どもたちの食事:もち米飯とゆで卵

学科の近況報告

作業療法学科

作業療法学科の卒業生の皆さん、お元気ですか？ 本学も創立以来8年を経過して5回目の卒業生43名を送り出し、4月には9期生50名を迎えるました。教員にも入れ替わりがあり、13名のうち創立以来の教員は大山、能登、貝渕、永井の4名になりました。カリキュラムも新入生から改訂されるなど、少しづつ変化が見られています。

さて、本学では現在専門職間の連携教育に力を入れつつあり、今年は4年次の総合ゼミに加えて、市内7大学の保健・医療・福祉系学生と一緒に学ぶ「大学間連携ゼミ」が8月17～19日の3日間実施されました。本学科からは3名の4年生が参加し、県内の病院・施設を訪問して対象者の方々に面接・評価した後、多職種で支援策を検討して発表する課題に取り組みました。初めての試みでしたが参加者からの評価は高く、今後専門職教育には連携を取り込んでいく必要性の高いことが示唆されました。他職種との連携は今後もKey Wordになりそうです。



支援策を検討中の学生(手前右が本学科の4年生)



作業療法学科 准教授
永井 洋一

健康スポーツ学科

卒業生諸君、お元気ですか

初めて卒業生を出した昨年度は、後半に不況に襲われましたが、何とか学科全体の就職率は、ほぼ100%を達成できました。新四年生は引き続くこのような状況下で、一層積極的に「就活」を展開しており、昨年に近い成果をあげつつ経過しています。教員採用一次試験を突破した学生も数名出了しました。課外活動なども、強化クラブをはじめ盛り上がりを見せています。今年は、新潟国体や全国障害者スポーツ大会が地元で開催されます。選手としての参加のみならず、補助役員や審判としても貢献できる学生諸君にとっては、充実した秋になりそうです。新設の第三体育館もトレーニング・センターも賑わっています。

さらに昨年以來実績をあげている健康運動実践指導者をはじめ、資格取得に向けての取組も種々進んでいます。7月開催の県下レクリエーション課程認定校学生交流会では、初出場の当学科チームが優勝しました。年度末にはレク・コーディネータが認定されそうです。



健康スポーツ学科 教授
小田切 敏一

理学療法学科

こんにちは! 卒業生のみなさん、お元気ですか？

PT学科では、学生定員80名の学年になって初めての卒業生が今年3月に旅立ちました。今はそれぞれの職場で、大学生活とは異なる楽しみや苦労を感じていることでしょう、ガンバレ～

今年、学科には高木先生、石黒先生のご転出に伴い解剖学とリハビリテーション医学の先生を迎えた。専門基礎科目のグレードアップが期待されます。また、OSCEの導入や大学間連携総合ゼミなど新しい教育法を導入し、臨床前教育の充実を図っています。さて、その成果はいかがでしょうか、これからが楽しみです。

最近、私は結婚や転職の報告を受けることが増えました。学会、研究会、臨床実習指導で卒業生にお会いすることも多くなりました。学生時代の面影を宿しながらもPTとしての出会いにうれしくもあり頼もしくあります。新潟・島見産のPTが日本、いや世界で活躍することを夢見ています。いよいよ、これから…！



OSCE(初回面接実習)の様子



理学療法学科 教授
押木 利英子

健康栄養学科

学科広報に注目ください

健康栄養学科 教授 宮岡 洋三

HN卒業生の皆さん、こんにちは!現在、学科広報委員を務めています宮岡です。本学のホームページを近頃も見てきてますか?今回は、公式ページとともに学科情報を伝えてくれる3つの情報源をご紹介します。その1は、やや古くなりましたが、「動画による学科紹介」です。まだ見ていない方は、一度はご覧になってください。その2は、「ニュートリ放送局」というブログです。すでに皆さんからも記事を寄せて頂いており、心より感謝をしております。今後とも、寄稿の方をよろしくお願いします。その3は「学科オリジナルサイト」で、7月下旬に公開されたばかりです。まったくの素人作りなので、大学や同窓会のような立派な作りではなく、また提供する情報もまだ多くはありません。しかし、今後も適時に追加していく予定ですので、是非一度はご覧ください。「国内見学研修」や「海外研修」など最近の話題だけでなく、懐かしい(あまり見たたくない…?)「卒業論文要旨」なども出ていますよ!

以上、学科広報の近況連絡までに。お元気で!!

学科のトップページです
健康栄養学科
Department of Health and Nutrition

本筋は、東北地方太平洋沖地震災害で被災した地域の健康と栄養のコアデータを育成します。また、チーム医療の一員として活躍でき、医学的知識豊かな管理栄養士の育成を目指します。

学科のTOPページ
学科紹介動画
ニートリ放送局
学科オリジナルサイト
ここに注目!

義肢装具自立支援学科

新潟医療福祉大学卒業生の皆さん。
社会に出て皆さんの夢の実現に向け邁進しておられることと思います。

新潟医療福祉大学が育成するところの保健医療福祉専門職においては、英語でのコミュニケーション能力と国際的な視野を持つことの必要性が近年、ますます認識されて来ております。

その重要性を鑑み、本学科でも、他の学科と同じく英語学習への動機付けをはかる意味で、1、2年生時に短期海外英語研修プログラムとして3月に全米の医療福祉分野で有数の大学であるピッツバーグ大学の健



ピッツバーグ大学 同窓会会館



義肢装具自立支援学科 教授
(ピッツバーグ大学 客員教授)
大鍋 壽一

言語聴覚学科

卒業生のみなさん、元気にがんばっていますか。今年の夏は比較的すこしやすかったけれど、新型インフルエンザという難物も待ち構えているようです。健康にはくれぐれも気をつけましょう。

2009年度の言語聴覚学科の大きな動きは、何といっても学科長の交代です。前任の渋谷直樹先生が東北文化学園大学に転出され、新学科長として新潟大学より糟谷政代先生をお迎えしました。先生のプロフィール、顔写真などが大学ホームページ (<http://www.nuhw.ac.jp/dept/medical/st/faculty.html>) に掲載されています。着任当初は前任校との違いに多少とまどわっていたようにもお見受けましたが、徐々に本学の水にもじまれて、言語聴覚学科にも糟谷学科長のカラーが少しづつ出てきたように思います。

8月22、23日には新潟で、本学科の渡辺真澄先生が実行委員長を務められた第12回認知神経心理学研究会が開催されました。会場で何人かの卒業生と話すことができたのも嬉しいひとときでした。

大学院の近況についても紹介しましょう。現在、言語聴覚学分野には修士課程、博士課程あわせて6名の大学院生が在籍しています。院生の数はここ数年少しづつ増えてきていますし、卒業生から来年度の大学院進学の相談もいくつか受けています。言語聴覚士になって3~4年の臨床経験を積んだあと、次のステップアップを求めて大学院を考える、そんな卒業生が増えているようです。大学院に興味のある卒業生の皆さんには、大学ホームページから専攻長の大橋靖先生に連絡を取ってみてください。

(<http://www.nuhw.ac.jp/grad/contents/contact.html>)



言語聴覚学科 教授
今村 徹

社会福祉学科

卒業生の皆様、元気でご活躍のことと存じます。まず昨年度の国家試験の状況ですが、受験者数118人のうち合格者数は72人、合格率61.0%で昨年度(57.4%)を上回り、高い合格率でした。全国の合格率は29.1%で前年比-1.5%ですから、いかに本大学の学生が頑張ったかが、おわかりいただけだと思います。精神保健福祉士は、受験した13人全員が合格し、昨年度に続き100%の合格率を達成しました。毎年のことですが学生のがんばりに驚いたところです。また、就職状況は卒業者数123人のうち求職登録数が117人で、登録者全員が就職をいたしました。地方公務員の上級職に就いた人もおります。こちらも、相変わらず高い就職率を維持しております。

さて、今年度の状況に目を向けてみると、平成21度の入学生より新カリキュラムがスタートし、授業時間数や科目数も増えました。社会福祉士の国家試験についても新カリキュラムの科目での国家試験となり、多少戸惑いもみられますが、今回も頑張ってくれると期待しております。また、平成18年度より開設された介護福祉コースが、来春初めて卒業生を出します。この分野での新潟医療福祉大学の新たな歴史も創られていくことと思います。

以上、社会福祉学科の近況報告とさせていただきます。



社会福祉学科 講師
渡邊 敏文

看護学科

看護学科が設立されて4年目になりました。ようやく全学年が揃い、看護学科にもぎやかになりました。4学年が揃うと、それぞれの学年毎に特徴があって、なかなか楽しいものです。

看護学科と言えば、各学年で行われる臨地実習がありますが、これからが本番です。8~9月中旬にかけて2年生が、9月下旬から来年2月にかけて3年生が、そして、3年生の実習が終わる頃に1年生が、それぞれの実習に臨みます。そのための準備も、各学年、着々と(?)進んでいるようです。

そして、今年初めて卒業する1回生(4年生)は、現在、就職試験や卒業研究、そして国家試験に向けての勉強、さらに学生最後の長期休暇を楽しむこと等で、忙しい夏を過ごしています。(助産専攻の学生は、夏休み返上で臨地実習しており、楽しむところではないようですが…))とにかく、初めての卒業生ということで、学生も教員も気合いを入れて頑張っています。目標は、もちろん、「国家試験全員合格!」です。

来年の3月には、いよいよ新潟医療福祉大学看護学科卒業の看護師・保健師・助産師が県内を中心に、関東甲信越地区や東北のさまざまな施設に就職していきます。もしかしたら、皆さんの施設に看護学科の卒業生が入職するかもしれません。そのときは、同窓生の皆様、宜しくお願ひ致します。

看護学科は、来春、ようやく新潟医療福祉大学卒業の看護職を社会に送り出すことができ、本格的に同窓会の仲間入りを果たせそうです。



看護学科 講師
荒木 玲子



5期生は今!

新同窓生近況報告



木村 いずみ
みやぎ県南中核病院 勤務

1日のスケジュール

- 6:00 起床
- 7:30 出勤
- 8:15~17:15 勤務
- 19:30 帰宅
- 23:00 就寝

Q1:学部・学科

医療技術学部 理学療法学科

Q2:学生時代の思い出。特に印象的だったこと。

旅行です。国内外問わざり多くの場所に行きました。行ったことのない場所やなかなかいける場所へいくことで、新たな物の見方や考え方ができとてもリフレッシュします。普段できないことを思いっきり行うことは本当に楽しいことだと思います。また海外にいくと一番感じることは、日本は素敵な場所だということ再認識することです。これも魅力のひとつです。

Q3:働く前と働いた後のギャップはありますか?

大きなギャップはありませんが、働いてみて感じることは仕事の種類がとても多くあるということです。事務的な仕事から、運営するにあたってさまざまな仕事があることというのは実習ではわからなかったことで、就職して感じたことです。

Q4:仕事をしている中で嬉しかったことや仕事のやりがいはありますか?

今、やりがいを感じることは患者さんの「変化」をみつけられたときです。患者さんの一日のなかのわずかな時間ですが、介入することでなにか小さな変化等がみられ、それが改善方向に向かっているとより一層の感動を覚えます。他職種とのコ

ミュニケーションの中から、リハで行っていた動作練習や自主練習などを行っていたとの情報などを報告していただくと患者さん自信にとても刺激を受け、自分自身のモチベーションが上がっていることを実感しています。また、あたりではありますがやはり患者さんから「ありがとうございます」と言っていただけた時に、何にもかえがたい気持ちが湧いてきます。本当は私自身、患者さんに元気もらったりしていく、感謝の気持ちとうれしい気持ちでいっぱいになり、これもまたやりがいがあります。

Q5:失敗談(辛い体験)、またはそれをどうやって乗り越えましたか?

まだ就職して間ないのでこれからこのようなことを経験していくのだろうと思いつつ、道を見失うことはとても辛いことだと痛感しています。これはこれからも幾度となくぶつかる壁だと思いますが、人生の先輩方からの温かいお言葉や友人からの励ましなどで乗り越えてきました。同僚の先輩方や友人にとても感謝しています。

Q6:仕事に対するご自身のモットーを教えてください。

あきらめない、反省する、できるだけ階段昇る!そんなに階数ないですが、心折れそうになるときもあるので、まずここからあきらめちゃだめだとできるだけ階段昇っています。

Q7:今後の夢や目標を教えてください。

理学療法士として半年働き、まだ近い目標を追いかけるので精一杯ですが、理学療法士として足りないものだらけなので知識・技術を増やしていき、他職種の方々や、患者さん等々のできるだけ多くの方とコミュニケーションを図り、できるだけ多くのことを吸収していきたいです。

Q8:最後に、同窓生やこれから社会に羽ばたく在校生にメッセージをお願いします。

目標達成をあきらめないで、想像することは自由なのでできるだけモチベーションがあがるような素敵なお自分を想像しながら頑張ってください。



今年新卒で一緒にに入った同期のリハスタッフです。
仲良く仕事をしています。



リハスタッフの集合写真です。
全員ではないですか、明るく素敵な
スタッフ方と共に仕事をしています。

1日のスケジュール

仕事は8:30から始まるんですけど、新人なので早めに出勤して掃除したり勉強したりしています。午前中は検査などの業者対応が多いです。お昼休憩は12:00からです。一応栄養士なので、患者さんの食事風景を見に病棟に行ったりもするので、わざわざお昼休憩を取らせてることも多いです。午後からは担当の病棟を行ったり、献血作成などをしています。うちの病院はサイクルメニューじゃないので、毎日献血を考えるの大変です。一応17:00で仕事が終わります。



関 俊也

立川メディカルセンター柏崎厚生病院 勤務

Q1:学部・学科

医療技術学部、健康栄養学科です。

Q2:学生時代の思い出。特に印象的だったこと。

学科のみんなで、国家試験合格にむけて一丸となって勉強したことです。…と言いたいところですけど、正直勉強していたことより遊んでいたことが印象に残っています。

僕らの学科は男女の垣根もなく、みんな仲良しだったので、毎日笑い声の絶えないという学科でした。

ホントに毎日がイイ思い出でした。

Q3:働く前と働いた後のギャップはありますか?

一日があつという間に過ぎるようになりました。一生懸命働いてる証拠ですね!

Q4:仕事をしている中で嬉しかったことや仕事のやりがいはありますか?

やっぱり患者さんと話しているときは楽しいですし、患者さんが『今日の夕飯おいしかったよ～』なんて言ってくれるとすごくうれしいです。

Q5:失敗談(辛い体験)、またはそれをどうやって乗り越えましたか?

失敗なんて書ききれないほどしています。仕事が遅かったり、発注ミスしたり、入力

ミスしたり…一通りのミスはやりつくしました。

そのたびに仲間に電話したり、一緒に遊びに行ったりします。幸いにも、周りにはいつも話を聞いてくれたり、遊びに付き合ってくれる仲間や先輩方がたくさんいます。この仲間達がいてくれれば、この先どんな辛いことがあってもやっていける自信があります。

あと、あとメタボ対策ではじめたフットサルもいいストレス発散になっています。

ただ、失敗してばかりもしていられないで、ミスしたことはちゃんとノートに書きめ、同じ失敗は繰り返さないよう努力しています。

Q6:仕事に対するご自身のモットーを教えてください。

仕事と遊びは混同したくないです。仕事中は一生懸命働いて、プライベートではめいっぱい遊びます。

Q7:今後の夢や目標を教えてください。

栄吉先生のようなBigな栄養士になりたいです。常に向上心をもち、日々精進して、しっかり貯金していればいつか叶うと思っています。

Q8:最後に、同窓生やこれから社会に羽ばたく在校生にメッセージをお願いします。

○同窓生のみなさんへ

仕事がんばってますか?ちょくちょく会っている人も、遠くにいる人も元気でいてくれたらうれしいです。それにもしても卒業してからもう半年くらい経つんですね。やっぱり大学の仲間は特別で、卒業後もよしそう携帯を鳴らしちゃいます。そのたびに仕事のがんばりっぷりを聞いて、「ちょっと今まで一緒にバカやってたのに…負けてらんねえな!」って気合が入ります。これからもみんなでがんばっていきましょう!

○在校生のみなさんへ

勉強がんばってますか?正直僕が大学にいた頃は、ほんとに働くのがイヤでできればずっと学生でいたいと思ってました。仲間と離れるのも辛かったです。でも、いざ社会に出てみると意外と楽しいです。たしかに仕事は大変だし、学生のときに比べるとプライベートも少なくなるかもしれません。けどその分、休日に仲間と過ごす時間がとっても充実した時間になったり、なにより学生の頃みたいにお金に困って貧困生活することもそうそうないと思います。とは言え、大学が楽しいのは間違いないです。卒業までの間、いっぱい勉強して思いっきり遊んじゃってください!

月日が経つのは早いもので、3月の卒業式から半年が経過しました。新社会人として、元気に頑張っている5期生の方々から、社会人となられた今、学生時代と比べ毎日をどのように過ごし、感じているかなど、また今後の目標や夢について語ってもらいました。



阿久根 直人
リコー販売株式会社 勤務

1日のスケジュール	
8:00	出社
9:00	朝礼
10:00	出発
17:30	帰社
19:00	退社

Q1:学部・学科

医療技術学部・健康スポーツ学科

Q2:働く前と働いた後でのギャップはありますか?

やはり、時間とお金ですかね。社会人なので学生ほど時間の融通はきかなくなりますし、収入も増えるので、言葉を悪く言えば金使いが荒くなります。その辺も自己責任になるので、常に先のことを考えて行動できるようになった方が良いと思います。

Q3:仕事をしている中で嬉しかったことや仕事のやりがいはありますか?

仕事(自分の場合は営業)をしていると、給料日や新規開拓先でキレイなお姉さんに会ったりなど嬉しいことは少なからずありますが、やはり一番嬉しいのは、今まで取引のないお客様に自分の名前を覚えてもらえたことです。苦労して何度

も訪問した分、やりがいも感じます。

また、リコー販売株式会社は関東甲信越で活動しているので県外に多くの仲間ができました。スポーツ大会もあるので、今でも連絡を取り合ったりしています。

Q4:失敗談(辛い体験)、またそれをどうやって乗り越えましたか?

失敗はありませんよ。ただ、失敗は失敗した分だけ自分自身を成長させてくれると思うので、これからも失敗を恐れずにやろうかって思います。ですが、辛い経験はあります。新規開拓のため、飛び込みで訪問していると、お客様に冷たくあしらわれたり、全く相手にされなかつたりと辛い経験は数え切れません。こういう時は先輩に相談するか、それでもおさまらないときは同期の仲間に愚痴を言います。同期の仲間も同じような境遇なので、一度愚痴を言い合うとかなり楽になりますよ。

Q5:今後の夢や目標を教えてください。

自分の場合は、スポーツと全く関係の無い仕事をしているということもあります、本当にゼロからのスタートをきっているので、今はあまり先のことを考える余裕も無く、もちろん一日一日振り返る余裕も無く過ぎています。ですので、今後の夢や目標も漠然としているのですが、仕事もスポーツも何事も一生現役でいられるような社会人でありたいと思っています。また、時間が過ぎるのもかなり早く感じるの、日々限られた時間の中で今の自分にできることを精一杯行なうことを心がけています。

たった今、目標見つけました。27歳で主任になります。そして32歳で所長になります。皆さんは「32歳で所長」という目標を聞いて正直…って感じだと思いますが、営業の世界だと結構凄いことなんですよ。(大学で言うと、助教授→教授になるくらいかな。)

Q6:最後に、同窓生やこれから社会に羽ばたく在校生にメッセージをお願いします。

とにかく今自分が「やりたい」と思えることをやればいいと思います。たとえそれが就職であったり大学院へ進学であったり、人によっては旅であるかもしれません。その先でまた「やりたいこと」が見つかればそれに挑戦する。

常に「やりたいこと」ができれば充実した人生が送れるはず!と思います。

就職浪人したっていいじゃないか!ニートと呼ばれようがいいじゃないか!!

でも、親孝行は忘れずに。

ろんですが、それ以上に相手の話を充分に聞き、その中からニーズを引き出す対人援助が重要だと感じています。

また、福祉事務所の中での仕事が中心だと思っていたが、実際は訪問調査等、外出する時間の方が多いことも働いてみて初めて分かったこと一つです。

Q3:仕事をしている中で嬉しかったことや仕事のやりがいはありますか?

仕事のやりがいは常に感じています。個人の生活に踏み込む仕事であり、私の言動によって相手の人生が変わってしまうこともあるため、責任は重いですが、その分やりがいがあります。

私が担当する生活保護世帯は、約90世帯あり、その一世帯一世帯のニーズは全く異なるものです。今、この世帯には何が必要か、これからどのように援助することが最適か、はっきりしたマニュアルや答えが無い分、やりがいのある仕事だと感じています。

Q4:失敗談(辛い体験)、またそれをどうやって乗り越えましたか?

日々失敗ばかりで失敗談を挙げるときが無いのですが、常に先輩方に助けられ乗り越えています。

辛いことというと、最近では移動年齢層の生活保護申請がとても多いことです。ニュースでも話題になった派遣切りの影響を受け、職を失った人が川崎区の簡易宿泊所街にも溢れています。簡易宿泊所はどこもいっぱいです数日間歩き回ってやつと開いている宿を探して来る人もいます。新しく生活保護の相談に来た人の面接を行なうと、どの人も今まで一生懸命がんばって、必ず死に働いて来た人はかりです。しかし、倒産や解雇によって職を失い、多くは住居も失います。すぐに生活保護の申請に辿り着く人は少なく、路上生活を送り、体を壊してしまってから相談に来る人が多いです。私が初めて行った新規面接で、今までの生活について涙を流しながら語る男性の姿を見て、言葉にならない気持ちになり、また自分のできることの少なさに情けなくなりました。今でも、新規面接の際は辛い気持ちを感じますが、「早く体を治して仕事を探したい」という前向きな言葉を応援できるよう日々試行錯誤しています。

Q5:今後の夢や目標を教えてください。

目標と呼ぶには漠然としそぎていますが、今後「ケースワークの出来るケースワーカーになる」ことを目指しています。今はまだ仕事をこなすだけで一日が終わってしまいますが、これから経験を重ね、一人一人に合った本当のケースワークが出来るよう努力したいと考えています。



鈴木 麻衣子

川崎市(川崎区役所 川崎福祉事務所 保護課) 勤務

1日のスケジュール

8:30出勤
○訪問調査(担当地区の生活保護受給世帯を訪問)
○所内面接(健康面の相談や金銭面、隣人トラブル等、担当地区の受給者の相談に応じる)
12:00~12:45 昼休憩
○病状調査(入院中や通院をしている受給者の病院に出向き、医師に病状や就労能力、生活上留意する点等を聞き、今後の援助方針に反映させる)
○事務作業(生活保護費の計算や、病院等関係機関への電話連絡、訪問記録、所内面接の記録等)
18:00~21:00
○仕事量によって帰宅
主な仕事は上記の通りですが、日によって入院の付き添いを行なう日や、担当地区で新しい生活保護の相談があった場合等は予定が大きく変わります。

Q1:学部・学科

社会福祉学部 社会福祉学科

Q2:働く前と働いた後でのギャップはありますか?

大学時代に教科書の中で学んだ福祉事務所というイメージは、事務作業中心の仕事でした。実際に仕事を行い、生活保護費の計算等事務作業も多いことはもち

こころに届くい話

同窓会サイト

<http://nuhw-dosokai.jp/>

同窓会は、会員の皆様にいち早く同窓会情報をお知らせする為、また、新潟県外にいる会員の皆様にも同窓会を身近に感じてもらえるよう、同窓会サイトを通じて、あらゆる取組を始めました。

その第一弾は、掲示板の情報提供、卒業生の近況をお知らせする「卒業生は今!」、会員の皆様が、日々感じたり、感動したことを自由に話してもらう「こころに届くい話」です。是非アクセスしてみてください。新たな発見があるかもしれません!!

同窓会に関するご意見・お問合せ・投稿は、dosokai@nuhw.ac.jpまで、お願ひいたします。

同窓会サイト「こころに届くい話」より

「こころに届くい話」は、何気ない日々の暮らしで、心に響いたことや感じた様々なことについて、綴るページです。

3月から9月までの間、投稿していただきましたお話から抜粋して、ご紹介いたします。皆様の心に響く何かが返ってくることを期待して……



『Sさんのひとこと』

社会福祉学科卒業生

私は、病院の医療相談室に勤務しています。今回、「心に届くい話」の原稿依頼のお話を頂いて、入院しているSさんのことを思い出しました。

Sさんの出会いは、約1年半前、A病院からストレッチャーに乗せられ、転院してきた時でした。顔色は青白く、瞳には力がなく、弱々しい姿でした。一緒に来院される家族はなく、Sさんはひとりでした。家族が離れていたのは、Sさんの過去にも、原因があったようでした。この出会いから、私はSさんのことを気に掛けるようになりました。病棟に行った時には、必ず、Sさんの部屋に寄るようにしました。しかし、声を掛けても、「いま、疲れてる。」「いま、いい。」「…(顔を伏せる)」という感じで、会話はさせてもらませんでした。ですが、いつか心を開いてもらいたい…と、それからも声を掛けるだけは続けました。

そんなある日、Sさんは持病の糖尿病が悪化し、今日明日の命と宣告されてしまったのです。疎遠となっていた家族に連絡するのですが、「Sとは関われない。他の兄弟もそれぞれ家族を持っているから。」と、言われてしまい、その時は「懸命にやっているつもりがなかなか報われないな…」と落ち込みました。

仕事が連休に入る為、「Sさんと最期になるかもしれない。挨拶をしに行こう。」と、病室に寄りました。酸素マスクをついているSさんの瞳は、天井を見つめ、一見、力強くも見えましたが、瞳の奥はやはり寂しそうで、その時もひとりでした。私は、胸が締め付けられ、やっと「ゆっくり休んでください。」と声を掛けることが出来ました。すると、Sさんがマスクの下で口を開き、声にならない声で囁きました。その口は確かに「ありがとう。」と言いました。涙が出そうでした。今までの思いはちゃんと伝わっていたんだ…と思いました。

人は人から気に掛けてほしいと思うものです。Sさんのように、それをうまく伝えられない人もいます。途中、くじけそうになりましたが、実はSさんは喜んでくださっていたのかな…と思い、嬉しくなりました。人を思いやり、誠実にいることを忘れずに、これからもたくさんの人と出逢っていきたいと思いました。

School Information

大学院からのお知らせ

新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科

臨床力+研究力のある 高度専門職・研究者・指導者を目指して!

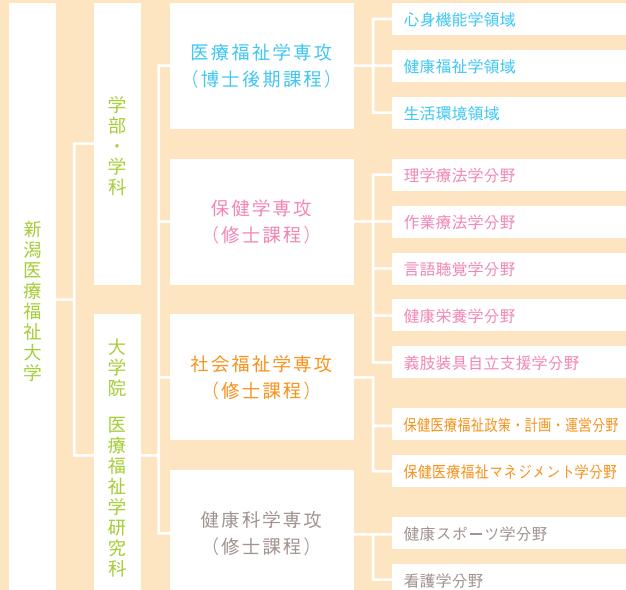
卒業生のみなさん、お元気ですか?早いもので本学も第5期生を送り出し、新潟県内外で多くの卒業生がご活躍されていることと思います。

さて、複雑化する社会・医療制度、深刻化する医師不足など保健・医療・福祉分野は現在大きな転換期をむかえています。このような状況の中、保健・医療・福祉分野に関わる専門職は諸々の複雑な問題に正面から向き合い、さらにそれらを的確に検証・解決していく能力が求められており、みなさんも日々の業務の中で実感されているのではないでしょうか。

本学大学院では研究者・指導者を目指す方は勿論、研究力をつけ、科学的根拠に基づいた問題解決のできる高度専門職の養成にも焦点をおいた教育を行っております。

臨床・実務経験のみだけでなく、研究成果を現場に還元ができる専門職を目指してみませんか?

新潟医療福祉大学大学院は、学びたい意欲を持った卒業生の皆さんを全面的にバックアップします!



充実の制度

- 本学学部卒業生の場合、**入学金(20万円)が半額免除**。
- 平日の授業は18時10分からスタート。土曜日・集中授業もあります
- 長期履修生制度で、修士課程の場合、3年又は4年間かけて修了することも可能。
- 修士課程は**教育訓練給付金指定対象**(義肢装具自立支援学分野を除く全分野)
- 各種奨学金制度**あり。
 - ・特別研究奨学金(本学学部卒業生対象。年間15万円~20万円を給付)
 - ・修学援助奨学金(2年次に15万円~20万円を給付)
- *他にも就学支援に関する制度があります。(いずれも選考があります。)

*資料請求やお問い合わせは本学入試事務室まで。(TEL:025-257-4459、FAX:025-257-4456、E-mail:nyuusi@nuhw.ac.jp)

新潟医療福祉大学大学院 入試及び説明会のお知らせ

平成22年度大学院入学選考試験概要 (博士後期・修士課程共通)

	第1次募集	第2次募集	第3次募集
出願期間	9月29日(火) ~10月13日(火)	12月24日(木) ~1月12日(火)	2月9日(火) ~2月23日(火)
試験日	10月24日(土)	1月23日(土)	3月6日(土)
合格発表	10月30日(金)	1月29日(金)	3月12日(金)

平成22年度大学院入学説明会

新潟医療福祉大学大学院では下記の通り説明会を行います。説明会では教員別の個別相談も行いますので、どうぞお気軽にご参加ください。

- 日時：11月11日(水) 18時10分～
- 場所：新潟医療福祉大学 管理棟2階会議室
- 内容：概要説明、分野別個別相談など。
- 〆切：11月9日(月)

お申し込み、お問い合わせは本学入試事務室まで。
TEL:025-257-4459 FAX:025-257-4456
E-mail:nyuusi@nuhw.ac.jp

同窓会活動に 参加してみませんか

＼新潟県、近県にお住まいの方へ／

きっと、同窓会で何か発見があるかも!

より良い同窓会を目指して、不定期にではありますが、仕事が終わった後に、スタッフは、大学に集まり、ワイワイとミーティングをしています。平成21年度は、同窓会誌「伍桃だより、伍桃」制作、5周年記念交流会、在学生の支援、ホームページ更新などの活動を予定しておりますので、是非、ご興味のある方は、同窓会のミーティングにいらしてください。スタッフ一同、多くの方々のご参加をお待ちしております。

みんなで同窓会を
作っていきましょう!

＼首都圏、関東地区にお住まいの方へ／

首都圏支部って何をしているの?

「同窓会の集まりに参加したいけど、新潟は遠いから…」よく聞かれる言葉です。ご存知でしたでしょうか?実は、東京、千葉、神奈川、埼玉、群馬、茨城、栃木エリアにお住まいの会員の方々を対象として、都内のサテライトキャンパスに首都圏支部の集まりがあります。



東京で
ミーティング
するので来てね。

まだ新しい支部ですので、
次の活動を計画中です。
お気軽ご参加ください。

①首都圏で働く卒業生と交流

(近隣の施設や病院などの情報交換を考えています)

②近隣の同窓生同士での勉強会

③なんでも気軽に話しができるような食事会

④首都圏支部総会の開催

同窓会活動にご興味のある方は、E-mail:dosokai@nuhw.ac.jp TEL:025-257-4455(代)同窓会支援室までお問合せください。お待ちしております。

第9回新潟医療福祉学会学術集会のご案内

新潟医療福祉学会では、発足以来、毎年学術集会を開催し、健康・医療・福祉分野との連携、さらには共同研究の発展のために活動しております。今年はテーマを「医療関連職の未来」としました。めまぐるしく変化する社会情勢の中、医療関連職は将来に向けてどのように進むべきかを考え、今後の具体的活動内容を決定する手がかりとなるような内容にしたいと考えております。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 平成21年10月31日(土)9:00~16:10

大会長 新潟医療福祉大学医療技術学部作業療法学科
学科長 大山峰生

場 所 新潟医療福祉大学 大講堂

参加費 無料

*OT協会生涯教育基礎ポイント対象

プログラム

9:00~	受付
9:30~	学会会頭、学会長挨拶
9:45~	一般演題:口述セッション
11:30~	一般演題:ポスターセッション
12:30~	昼食
13:30~	新潟医療福祉学会総会
14:00~	特別講演「医療関連職が果たすべき今日的課題」 講師 ながの 聖(きよし)先生 大阪府議会議員 理学療法士
15:00~	シンポジウム「若手が語る医療関連職の将来像」
16:10	閉会

編

集 | 後 | 記

同窓会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。すっかり秋らしくなってきましたね。今回の伍桃だよりから趣向を変えてお送りしております。今回の特集としては、本学の大学院を取り上げました。大学院で学ぶメリットや研究のおもしろさを先生方から紹介いただき、また、大学院生からもお話をいただきました。いかがでしたでしょうか。

そして、秋にはイベントが盛りだくさんです。10月には大学祭、新潟医療福祉学会学術集会が開催されます。11月には同窓会創立5周年記念ということで、卒業生のみなさんと先生方との交流会を開催いたします。職場での話いや、友人や先生との大学での思い出話等、きっと楽しい会になると思います。ぜひふるってご参加下さい。

また、同窓会の情報はHPでご覧いただけますので、一度アクセスしてみて下さい。

新潟医療福祉大学同窓会支援室
新潟市北区鳥見町1398番地

E-mail : dosokai@nuhw.ac.jp
TEL : 025-257-4455(代)